



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大上 誠一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 栢森 啓 (TEL) 052-581-7111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	27,101	9.3	1,811	△1.7	1,985	△1.5	1,277	△4.8
2019年3月期第3四半期	24,795	△11.4	1,841	27.2	2,016	25.6	1,342	40.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,282百万円(△2.6%) 2019年3月期第3四半期 1,316百万円(31.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	86.43	—
2019年3月期第3四半期	90.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	44,539	30,589	68.7
2019年3月期	43,729	29,898	68.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 30,589百万円 2019年3月期 29,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2020年3月期	—	10.00	—		
2020年3月期(予想)				30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	9.1	1,200	△21.5	1,250	△28.5	800	△36.7	54.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	14,783,900株	2019年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	868株	2019年3月期	840株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	14,783,046株	2019年3月期3Q	14,783,068株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、通商問題を巡る緊張や、中国経済の減速、英国のEU離脱問題など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」、「ギャンブル等依存症対策基本法」、受動喫煙対策を強化する「改正健康増進法」への対応により、新規出店や大規模改装等の減少傾向が続いております。また、パチンコホールでは、2019年12月に認定切れとなる旧規則パチスロ遊技機の撤去・置換が優先されたことで、周辺設備等への投資が控えられる、非常に厳しい状況で推移しました。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、6月にリリースした新製品AIホールコンピュータ「X(カイ)」の機能追加を実施し、引き続き既存ホールコンピュータ「CII」からのシステムアップによる入替を促進するとともに、導入店舗に対する個別セミナーやフォロー活動に注力しました。

また、パチンコホールの業務効率向上と深刻化する人手不足の解消を目指した、スマートウォッチタイプの新製品「Working Assist ウェアラブル端末 WW-01」をリリースし、12月より販売を開始しました。

制御システム事業におきましては、パチンコ遊技機の内規の変更、及び型式試験の適合率が低迷していることに加え、新台の販売台数も伸び悩む市場環境において、引き続き開発工程の効率化による開発期間の短縮を図り、リリース時期の遅延リスクの低減に努めました。

また、表示ユニットの低コスト化に向けた技術及び部品の調査研究に取り組むとともに、専門技術を有する企業とのアライアンスに取り組むなど、新しい技術を活用した企画・製品提案をパチンコ遊技機全体に広げる活動を推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高271億1百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益18億11百万円（同1.7%減）、経常利益19億85百万円（同1.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億77百万円（同4.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、パチンココーナーへの導入が進んだ情報公開端末「REVOLA」の販売、及び新製品AIコンピュータ「X(カイ)」のシステムアップは引き続き堅調に推移しました。

一方で、新規店舗や大規模改装が大幅に減少したことで、上半期は好調だったCRユニット「VEGASIA III」及び「BIGMO PREMIUMII」の販売が、第3四半期は苦戦を強いられる結果となりました。

この結果、当事業の売上高は220億57百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は32億62百万円（同17.0%増）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、パチンコ遊技機向け部品販売は好調に推移しましたが、市場全体の新台販売台数減少に伴う遊技機メーカーの販売計画の見直しがされるなど、表示ユニット及び制御ユニットの販売においては前年同期を下回る非常に厳しい状況となりました。

この結果、当事業の売上高は50億66百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント損失は80百万円（前期セグメント利益3億32百万円）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、たな卸資産及び開発回収金に伴う未収入金の減少や、固定資産の減価償却費の計上が大きかったことなどにより有形固定資産及び無形固定資産が減少しましたが、売上が好調に推移したことにより現金及び預金や売上債権が増加しました。この結果、前連結会計年度末に比べ8億9百万円増加の445億39百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間末の負債は、経営成績が好調に推移したことによる未払法人税等や未払消費税等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1億18百万円増加の139億49百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間末の純資産は、配当金の支払額よりも親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が大きかったことにより利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ6億91百万円増加の305億89百万円となりました。自己資本比率は68.7%（前連結会計年度末比0.3ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、情報システム事業では期初の見込みを上回り堅調に推移いたしましたが、制御システム事業にて厳しい事業環境が継続しており、全体としては、概ね計画通りに推移しております。

通期の業績予想につきましては、2019年5月14日発表からの修正は行っておりません。

今後修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,751,427	14,933,832
受取手形及び売掛金	5,330,899	7,292,038
電子記録債権	2,078,824	1,313,554
商品及び製品	4,244,638	3,406,286
仕掛品	42,988	35,167
原材料及び貯蔵品	871,688	555,742
その他	1,079,385	779,743
貸倒引当金	△2,195	△1,626
流動資産合計	26,397,656	28,314,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,929,790	3,818,792
土地	4,162,117	4,162,117
その他（純額）	1,544,129	1,171,089
有形固定資産合計	9,636,036	9,151,999
無形固定資産		
ソフトウェア	3,814,911	3,420,379
その他	33,148	34,755
無形固定資産合計	3,848,060	3,455,135
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,169,233	906,702
投資不動産（純額）	919,062	906,338
その他	1,918,639	1,951,811
貸倒引当金	△159,220	△147,532
投資その他の資産合計	3,847,714	3,617,320
固定資産合計	17,331,812	16,224,455
資産合計	43,729,468	44,539,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,860,174	2,392,527
電子記録債務	3,091,415	3,745,246
短期借入金	3,000,000	3,000,000
未払法人税等	245,352	323,750
役員賞与引当金	60,634	80,100
製品保証引当金	12,871	52,192
株主優待引当金	38,311	70,067
その他	3,031,203	2,779,241
流動負債合計	12,339,962	12,443,126
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
役員退職慰労引当金	357,968	368,656
退職給付に係る負債	521,268	526,816
その他	312,187	311,182
固定負債合計	1,491,424	1,506,654
負債合計	13,831,386	13,949,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	28,688,969	29,375,382
自己株式	△1,606	△1,648
株主資本合計	30,041,371	30,727,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,536	14,814
退職給付に係る調整累計額	△174,826	△153,143
その他の包括利益累計額合計	△143,289	△138,328
純資産合計	29,898,081	30,589,414
負債純資産合計	43,729,468	44,539,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	24,795,700	27,101,533
売上原価	15,589,341	17,203,781
売上総利益	9,206,359	9,897,752
販売費及び一般管理費	7,364,473	8,086,606
営業利益	1,841,885	1,811,145
営業外収益		
受取利息	5,275	22
受取配当金	11,096	8,923
不動産賃貸料	60,576	59,839
受取分配金	74,054	111,162
その他	68,191	39,060
営業外収益合計	219,193	219,008
営業外費用		
支払利息	8,452	8,732
不動産賃貸費用	35,381	35,105
その他	1,151	540
営業外費用合計	44,984	44,379
経常利益	2,016,094	1,985,775
特別利益		
固定資産売却益	—	596
投資有価証券売却益	31	—
特別利益合計	31	596
特別損失		
固定資産除却損	4,090	10,077
減損損失	3,927	7,539
会員権評価損	2,850	—
その他	1,698	3,798
特別損失合計	12,566	21,415
税金等調整前四半期純利益	2,003,560	1,964,956
法人税、住民税及び事業税	359,638	426,877
法人税等調整額	301,660	260,343
法人税等合計	661,299	687,221
四半期純利益	1,342,260	1,277,735
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,342,260	1,277,735

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,342,260	1,277,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,538	△16,722
退職給付に係る調整額	28,546	21,683
その他の包括利益合計	△25,992	4,961
四半期包括利益	1,316,268	1,282,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,316,268	1,282,696

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,810,689	4,985,011	24,795,700	—	24,795,700
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	39,430	39,430	△39,430	—
計	19,810,689	5,024,441	24,835,130	△39,430	24,795,700
セグメント利益	2,787,720	332,980	3,120,701	△1,278,815	1,841,885

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,278,815千円には、セグメント間取引消去1,604千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,280,420千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「情報システム事業」セグメントにおいて、今後利用計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、3,927千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,057,915	5,043,618	27,101,533	—	27,101,533
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	23,200	23,200	△23,200	—
計	22,057,915	5,066,818	27,124,733	△23,200	27,101,533
セグメント利益又は損失(△)	3,262,944	△80,670	3,182,273	△1,371,128	1,811,145

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,371,128千円には、セグメント間取引消去6,751千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,377,879千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「制御システム事業」セグメントにおいて、連結子会社の有する事業用資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、7,539千円であります。